

機械工学委員会生産科学分科会（第26期・第7回）議事要旨

日 時：令和7年10月15日（水）18:00～20:00

会 場：オンライン

出席者：

足立幸志、伊藤宏幸、梅田靖、佐々木直哉、鈴木宏正、須藤雅子、塚田竹美  
廣野陽子、藤田喜久雄、松田三知子、松原厚、光石衛（12名、五十音順、敬称略）

欠席者：

佐田豊、厨川常元（2名、敬称略）

議題

- （1）フォーラム開催について
  - 1-1）フォーラム概要  
（添付1：2025.1107.循環経済の実現に向けたものづくりの役割.pdf）
  - 1-2）講演要旨の共有
  - 1-3）Webアンケートについて
  - 1-4）パネル討論：論点整理
  - 1-5）フォーラムの周知について
- （2）その他

議事

- （1）フォーラム開催について
  - 1-1）添付1：2025.1107.循環経済の実現に向けたものづくりの役割.pdfを参照して、当日のプログラムの確認と準備状況の進捗について確認した。  
質疑の受け方について討議し、話題提供については講演時間の最後5分を質疑の時間として会場とチャットで質問を受けることにした。パネルディスカッションは最後に時間を設けて質疑を行うが、話題提供に対する質問もお受けすることとした。  
特に、ご専門ではない方からの意見を聞けるよう配慮することを確認した。
  - 1-2）梅田先生ご講演：循環経済を実現する持続可能なものづくり—分科会委員長として分科会の紹介と本フォーラムの各講演と統一テーマの関わりを俯瞰できるようなガイダンスを追加していただく。  
藤田先生ご講演：“つながる”製造業の課題～システムからエコシステムへ～—価値提供に向けた循環が生産技術とリンクすると良い。情報量が多いので枚数を精査していただく。  
諸富先生ご講演：サステナブルな産業構造に向けて～環境保全を新たな産業発展の契機とするには？—制度をドラスティックに変えることで社会にプラスになることが示される。  
佐田先生、西尾先生のご講演については、資料が届き次第共有することとした。  
各話題提供から次の話題につながるように言及すると理解の助けになる。  
フォーラムは専門家ではなく一般国民と共有できる内容にすることが望ましい。
  - 1-3）事務局にフォーマットとツールの確認をする。アンケート内容については別途共有する。講演の内容から課題や足りない点について指摘していただくと、提言作成時のヒントになる。

1 - 4) 生産科学をベースとした価値設計、豊かな地球を残すために生産科学が必要であることなど、討論の方向性について討議した。本分科会の主張はこれまで広くされてきた議論と違うのか、物質を循環するだけでなく学んで改良して成長していく方向を示せないか、時間のスパンを長く設定して将来利益を獲得するモデルを示せるか、等議論多数。

引き続き検討して共有する。

1 - 5) 委員各位で関連学会、工業会、各種団体に本件を周知することを確認した。

(2) その他

2 - 1) 議事要旨の承認に関する委員長一任について：一任する。

2 - 2) 今後の会議日程等その他

別途日程調整する。

以 上